

# 【習慣メンテ編✧】14

---

はら  
『肚』が決まれば、  
『氣』がめぐる。

✧『運』の仕組みが分かる  
基礎講座✧



日本語には、

はら  
『肚』が決まる



という言葉があります。

今回は、  
『身体』の不思議に  
目を向けていきます。

同じ「はら」にも様々な種類があります。

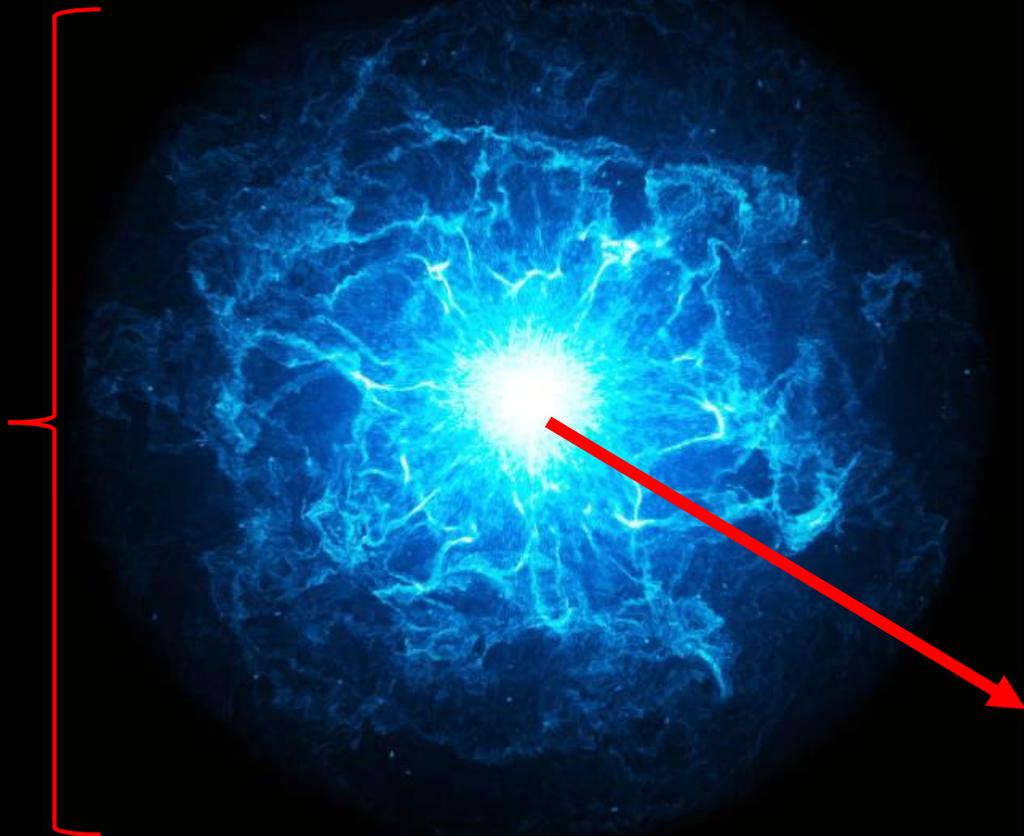
<sup>はら</sup>  
『腹』： いわゆるお腹。  
『身体』の前面の部分。

<sup>はら</sup>  
『肚』： 『身体』の中心。  
『魂』に関わる部分。

『肚』という字の「土」は、  
位置／中心という意味があります。

はら  
『肚』には、『神域』という場所があり、  
そこに『魂』が居座っています。

神域



魂



『天』からの恩恵は、  
『<sup>しん</sup>神<sup>い</sup>意』を通して  
『魂』で授かります。

邪念がなくなると、



『天』から届く恩恵を、  
『魂』でしっかりと受け取ることができます。

そして、『肚』を中心に、  
『氣』(エネルギー)がめぐっていきます。



それは、『身体』『心』に<sup>し</sup>沁み渡り、  
やがて「言動」に現れます。  
発する言葉や、行動の全てですね。



ここで大切になってくるのが、  
『清浄』です。

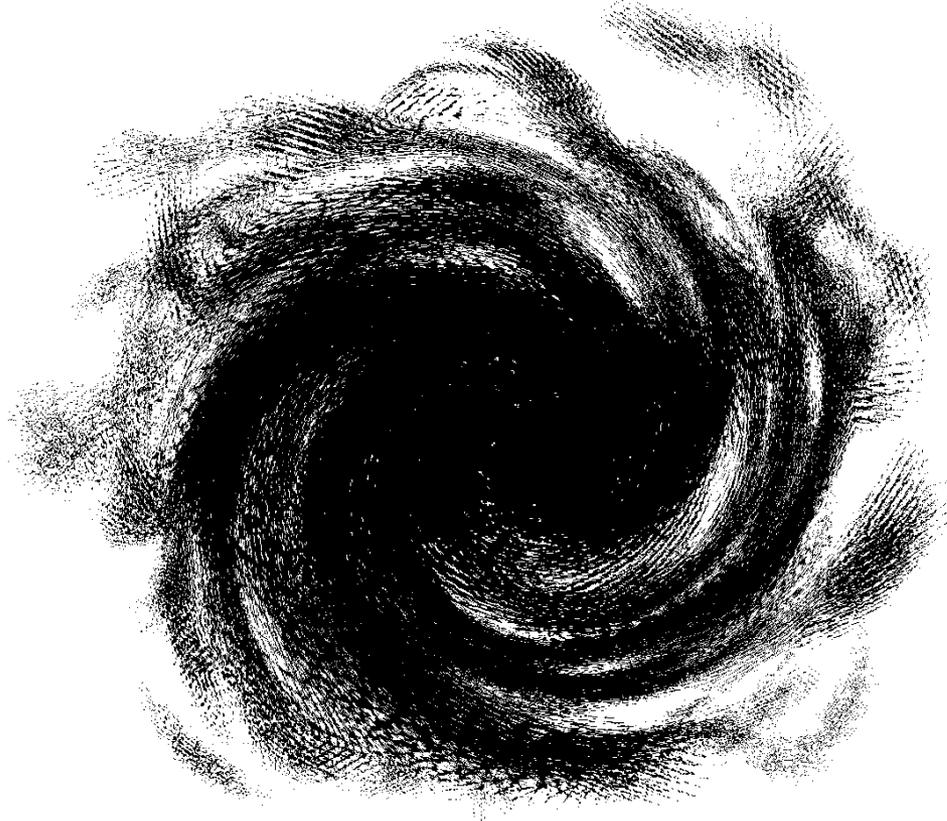
しっかり『**清浄**』されていると、  
綺麗な「水」が全身をめぐるイメージです。



発する言葉／行動も、  
清々しく、『**調和**』の取れたものになります。

逆に『清浄』されていないと…

『神域』が穢<sup>けが</sup>れて邪気に侵され、  
いわゆる「肚黒い」状態になります。



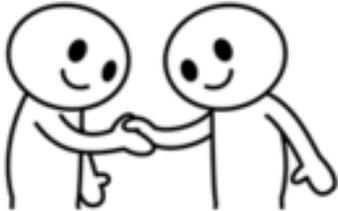
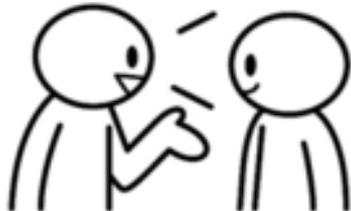
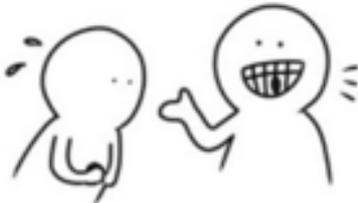
発する言葉／行動も、  
自分本位となり、不調和を招くでしょう。

人間関係は、

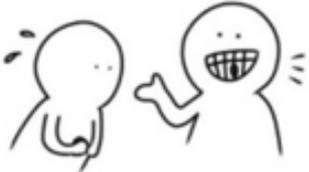
「建前」と『本音』

と言えますが、ここに大きく影響してきます。

『心身元氣楽』では、4つに分類しています。

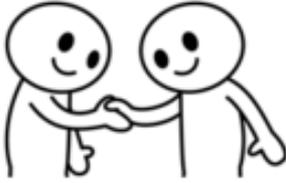
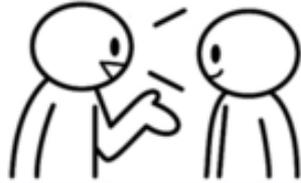
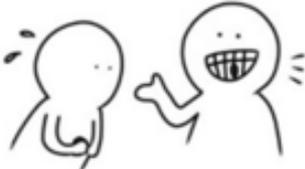
<p>行動</p> <p>目的</p>	<p>たてまえ</p> <p>建前</p>	<p>ほんね</p> <p>本音</p>
<p>お互いの ため</p>	<p>許し合う</p> 	<p>無邪気</p> 
<p>自分本位</p>	<p>ごまか</p> <p>誤魔化す</p> 	<p>無神経</p> 

『清浄』できていると、「お互いのため」に  
コミュニケーションできます。

行動 目的 ✨	たてまえ 建前	ほんね 本音
お互いの ため	許し合う 	無邪気 
自分本位	ごまか 誤魔化す 	無神経 

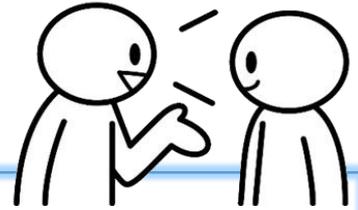
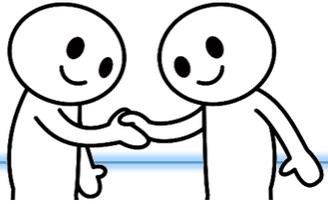


邪気で穢<sup>けが</sup>れていると、「自分本位」な  
コミュニケーションになります。

行動 目的	たてまえ 建前	ほんね 本音
お互いの ため	許し合う 	無邪気 
自分本位	ごまか 誤魔化す 	無神経 



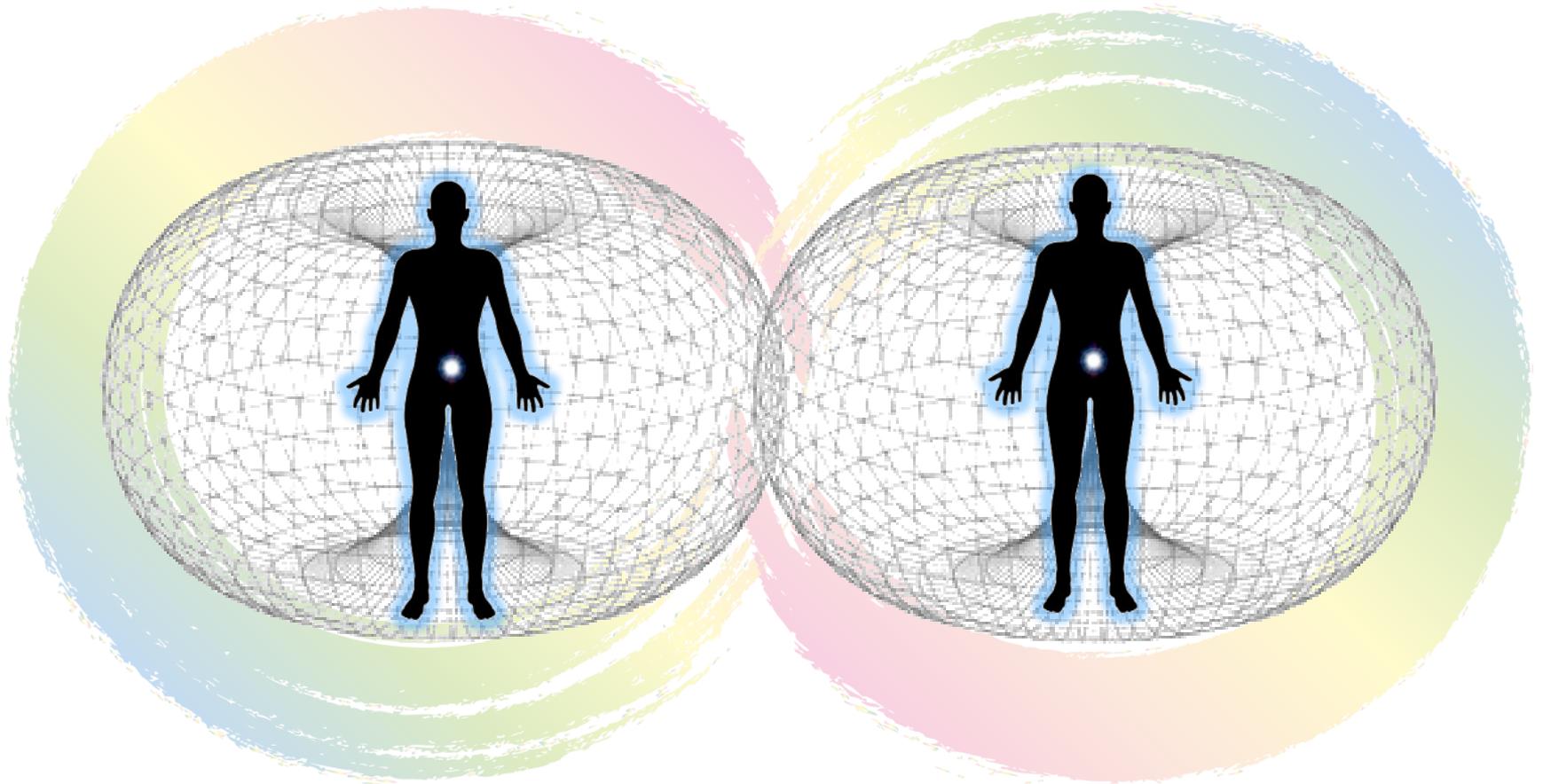
まとめますと、



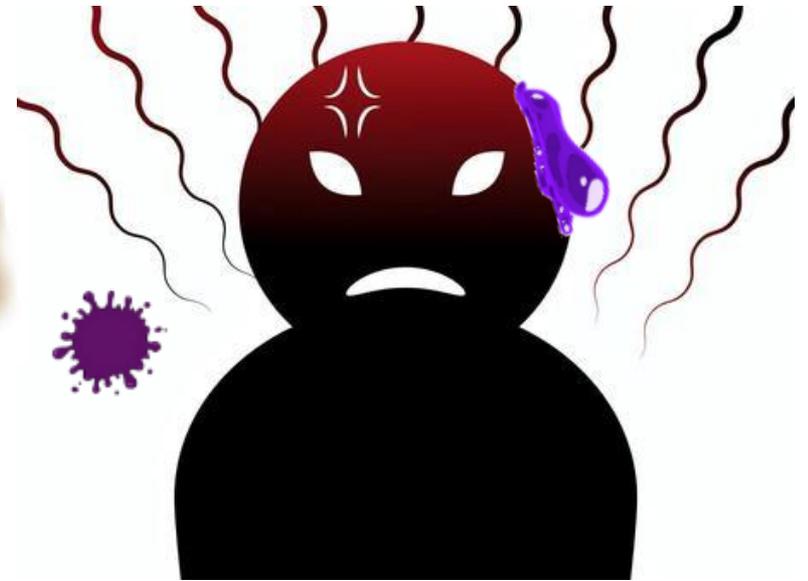
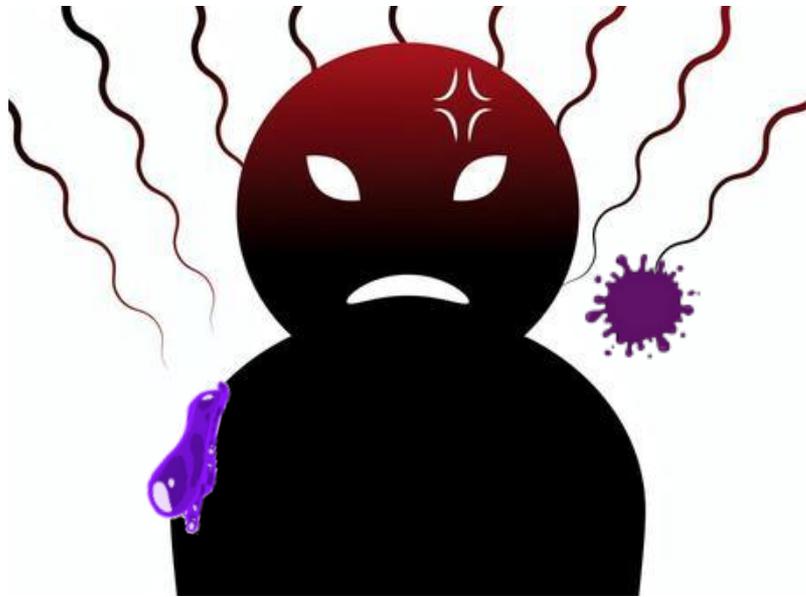
お互いに許し合い、  
時には無邪気に『本音』を伝える

これが大切になります。

お互いに『清浄』されていると、  
円満な関係を結び、  
「縁<sup>えん</sup>」が上手く回ります。



それぞれが「自分本位」だと、  
ドロドロな関係性となり、  
「<sup>えん</sup>怨」になってしまいます。



ちなみに、「言葉を発する」というのは、

『心』⇒『身体』⇒『自然』  
(御縁／環境)



の流れで、波紋が広がること。

そしてまた、

『自然』⇒『身体』⇒『心』

(御縁／環境)



の流れで、影響を受ける。

全ては循環し、  
影響を与え合っています。

いち ぜん ぜん いち  
一は全、全は一。



『自分』は『自然』とつながっていて、  
『自然』は『自分』とつながっている。

だからこそ、辿り着くのが、  
「御蔭様」。



次回がよいよ最終章となります。  
お楽しみに。

日々の習慣を知りたい方は、  
是非、読み進めてみてください。



次の章へ、続く。

もう一度  
最初から見る

